

福島県浜通りと首都圏を繋ぎ、関係人口拡大を図る実証活動を Craft Village NISHIKOYAMA で開始

独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）は、原子力災害被災地域の復興まちづくりを推進するため、株式会社バトンと連携・協働し、福島県浜通り地域^{※1}と首都圏を繋ぎ、関係人口拡大を図る実証活動を、Craft Village NISHIKOYAMA（東京都目黒区、以下「当施設」）^{※2}にて、12月15日から開始します。

原子力災害被災地域では、本年、特定復興再生拠点区域の避難指示解除により、約11年半ぶりに大熊町・双葉町のかつての中心市街地で、居住が可能となりました。しかし、長期間にわたる避難生活を背景に町民の帰還意向が低いことが課題となっています。そのため、UR都市機構は復興拠点整備等のハード整備だけでなく、交流人口・関係人口の創出・拡大や中心部の賑わい・交流づくりに向けて、地域プレイヤーの発掘・連携、関係者を巻き込みながらの実証活動を軸に、ソフト支援にも取り組んでいます。

その一環として、当施設で新規オープンする飲食店に、浜通りと首都圏の人や地域を繋ぐきっかけづくりの案内人を配置し、地域課題解決に繋がるようなイベント、浜通りのファンや応援団を増やす仕組みづくり、情報発信を展開していきます。

今後も震災復興や地方創生の推進に向けて様々な民間事業者と連携を図り、UR都市機構が保有する首都圏の他のアセット活用も検討しながら、地域を繋ぐ取り組みの拡大を進めていく予定です。

※1 相馬市、南相馬市、いわき市と相馬郡、双葉郡からなる福島県東部の太平洋沿いの地域です。

※2 Craft Village NISHIKOYAMA は、まちの創成事業を手掛ける株式会社ピーエイとUR都市機構が、地域のまちづくりや賑わい創出の場として、東急目黒線西小山駅前にて展開している施設です。



飲食店外観



飲食店内観

（お問い合わせ先）

■当施設での実証活動・福島県浜通りの地域再生に関すること

UR都市機構 東北震災復興支援本部 福島復興支援部 地域再生課

（電話）0246-38-6531

■Craft Village NISHIKOYAMA・西小山のまちづくりに関すること

UR都市機構 東日本都市再生本部 密集市街地整備部 密集市街地整備第1課

（電話）03-5323-0645

■当施設実証活動における案内人・イベント等に関すること

株式会社バトン

（電話）050-6865-3838

（会社概要）地域の中小企業の現場の課題を、都市部のプロ人材、オンライン人材、キャリアを諦めざるを得ない人材で解決する総合アウトソーシング会社

Craft Village NISHIKOYAMA での実証活動イメージ

●飲食店の内容

店舗名	「籠～cargo～」(かご) 【コンセプト】 ・日本各地の魅力的なアイテムを集めた宝物のような入れ物「籠」 ・日本各地から集めた選りすぐりの品を世界へ発信する「cargo(貨物)」
オープン	12月15日(木) ※12月1日から14日までプレオープン
営業時間	月曜定休、11時～23時(予定)
メニュー	【フード】豚丼、芋煮、お煮しめなど、約30種類 【ドリンク】福島県(特に浜通り地域)のお酒など、約70種類
運営主体	株式会社 Oriai(株式会社バトンの協力会社)

注)飲食店の運営は民間企業の事業です(UR 都市機構は直接関与していません)。

●案内人の配置

人材・チーム	イベント企画等の得意分野を持つ5名程度のチーム
主な役割	リアルな対話やイベントを通じて、人や地域をつなげ、浜通りの地域課題解決に向けた活動を展開する
配置日時	毎週火曜・土曜、11時～16時(予定) ※今後変更する場合あり
運営主体	株式会社バトン

●イベントのイメージ

- ・浜通りの現状や課題を知ってもらうためのトークセッション、現地ツアー
- ・浜通りに関わりのある企業や学生等の交流会
- ・浜通りの地域産品を使ったデザート販売(学生のチャレンジを支援)

※12月17日(土)11:00～18:00・18日(日)11:00～15:30に、

大熊町の特産品であるキウイフルーツをコンテンツとするイベント『キウイの秘密』を開催

(主催:みんくま(みんなで大熊町づくりプロジェクト)、共催:キウイ再生クラブ、協力:フルーツガーデン関本ほか)



●浜通りファンや応援団を増やす仕組みのイメージ

- ・情報集約共有:浜通りの企業や学生等が地域一体で魅力的な活動を継続できるように、行政区を跨ぐ広域な視点から、浜通りの各種情報(資源、食、仕事・生活、活動団体等)を集約・共有できるデータベースを構築
- ・有料会員制度:有料会員になることで、情報交換やイベント活動への優先参加や、イベント運営や就労など浜通りにかかわりたい若者支援への参画が可能

●情報発信

- ・note:関係人口の裾野を拡大するために、浜通りの人材・資源を定期的に発信
- ・LINE等:全国の浜通りファンに対して、各種情報のデータベースを活用して、個々のニーズに応じた情報を発信

